

全久院報

松本市深志 3-7-50 電話 0263-36-3211

全久院令和の大改修

檀信徒の皆様には以前より経過をお伝えしてきましたとおり、建物の老朽化が激しく、急務となった耐震化を中心とした改修について、本年の新年檀信徒総会にて工事計画を認めて頂きました。その後詳細について総代会や建設委員を中心に検討してまいりました。まだまだ詳細を詰めていかねばなりません、コロナ感染症やウクライナ問題による経済の激震により、見積もりや工事計画については工事の進展に伴いながら決定してゆかねばなりません。まずは現在までの経過をお伝えしたいと存じます。今回の大改修を「全久院令和の大改修」と名うって進めます。

1. 工事内容・日程・予算

a 離れ	再生工事、耐震改修	2023年春	3000万円
b 庫裡	地盤強化、耐震改修、 減築工事、再生工事	2024年春	8850万円
c 本堂	地盤強化、耐震改修	2026～29年	3500万円
d 開山堂	地盤強化、耐震改修	々	2000万円
	・設計管理費		1800万円
	・給排水設備		300万円
		計	19340万円
		消費税込み計	21395万円

・晋山式を工事完成を記念事業として、2030年を目標に行います。

2. 進行表

- ・かわかみ設計と契約（新年護持会総会にて承認）
今年度中に基本設計
- ・22年8月5日、護持会総会開催、工事計画の説明、質疑応答、
- ・9月 寄付のお願い開始
- ・23年1月、数社に見積もり依頼、入札
- ・23年2月、施工業者決定
- ・23年3月、着工

3. 寄付

- ・分納可、ご相談ください
- ・一口10万円
- ・檀信徒数 約700件

（決して強制的なものではありません）

寄付の入金によって支払いながらの工事進行になりますので、10年という期間を考えています。諸条件が可能な場合はなるべく工程を短縮したいと考えています。また最近の世界状況、経済の変動が予想を超えるものがありますので、上記の計画は変更が伴うものと考えます。総代会や建設委員の専門的な知識をいただきながら事業を進めていきたいと存じます。なにとぞご協力よろしくお願いいたします。

収入について、皆様の寄付金と、
全久院護持会
宗教法人全久院
倉科家 など相応の額を収入
篤志寄付 に予定しています。

施食会にて護持会総会を開催します

「全久院令和の大改修」に関して、檀信徒の皆さんのご意見を頂戴いたしたく、護持会総会

を開催いたします。

護持会総会は

本堂耐震化工事は本年度新年総会にて承認をいただきました。今回は工事の詳細、予算、寄付などについて説明をさせていただきます。檀信徒の皆様のご意見を頂戴して、皆様に納得いただけるよう準備を進めたいと思います。ご参加よろしくお願いたします。

施食会当日の日程です。

- 8月5日（金） 12時 受付、バザー開始。 今年も食事、説教、余興はありません。
13時 護持会総会
14時 施食会法要 お参りのご寺院様は半分の人数になります。
15時 お塔婆を配ります。

参加の皆様

感染を心配される方はご欠席ください。

参加しても大丈夫という方も、ご無理のないようにお願いします。

衛生管理の徹底をお願いします。マスク着用。高熱・咳の方は参加をお控えください。

新型コロナ感染症に対応して、今年のお盆法要は

新型コロナウイルス感染症は一時鎮静化したかのようでしたが、

第7波の動きがみられるようになりました。そこで施食会、棚経（お盆参り）、お塔婆のお渡しの仕方は昨年と同様とさせていただきます。

施食会 **施食会の日程** 皆様にお配りする施食旗の封筒の説明書きは例年のものです。今年のお盆用ではありませんので、全久院報の記事の説明に従ってください。

- 8月5日（金） 12時 受付、バザー開始。 今年も食事、説教、余興はありません。
13時 護持会総会
14時 施食会法要 お参りのご寺院様は半分の人数になります。
15時 お塔婆を配ります。

参会者

感染を心配される方はご欠席ください。

参加しても大丈夫という方も、ご無理のないようにお願いします。

衛生管理の徹底をお願いします。マスク着用。高熱・咳の方は参列をお控えください。

本堂の畳、一畳に二人ずつの着座をお願いします。

棚経

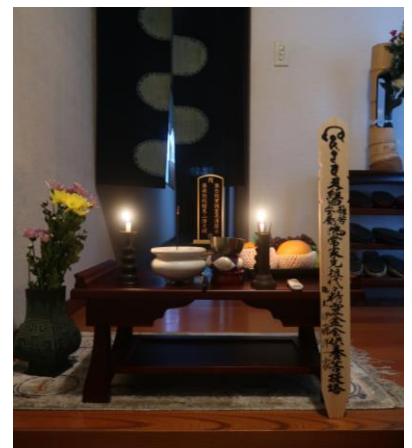
お寺は本年も棚経（お盆参り）に参ります。お宅でも感染症に対して三密にならないように、以下の方法にて棚経のご対応をお願いいたします。以下四つの方法が考えられます。

1、棚経にお参り行く日の時間帯に

玄関先へ、盆飾りを出して、お寺が家に上がらずにお参りできるようにする。（右の写真は玄関先盆飾りの例です）

2、仏間で、仏壇や盆棚に盆飾りをする

寺のお参りに檀家様も**同席する**。



3、仏間で、仏壇や盆棚に盆飾りをする

寺のお参りに檀家様は同席しない、お布施はお参りの場所周辺の見える場所に置く。

4、お盆参り、今年は断る

以上四つの方法を考慮いただき、4番をご希望の方はお盆の前に電話などでお知らせください。

塔婆の配り方 施食会に参加いただけなかった方で、後日お塔婆を取りに来られる方は

- ・ 塔婆の棚を玄関の下駄箱前に出しますので、各自ご自分で探してお持ち帰りいただく。
- ・ お盆費用をお持ちくださり、お支払いいただく場合は、チャイムを鳴らし、寺の者をお呼び出してください。

お盆参りのお知らせ

お盆参りの予定を次の表にしましたのでご覧いただき、ご準備をお願いします。本年も副住職俊浩が松本市の南半分を回り、私が北半分を回ります。毎日80軒前後の軒数を回ります。朝7時半から夕方7時ころまで回ります。事前にお配りする、盆旗を入れた案内の封筒に記入した期日と時間どおりにお参りがなかった場合は、電話などでお問い合わせください。今年の予定は下記の表のとおりです。

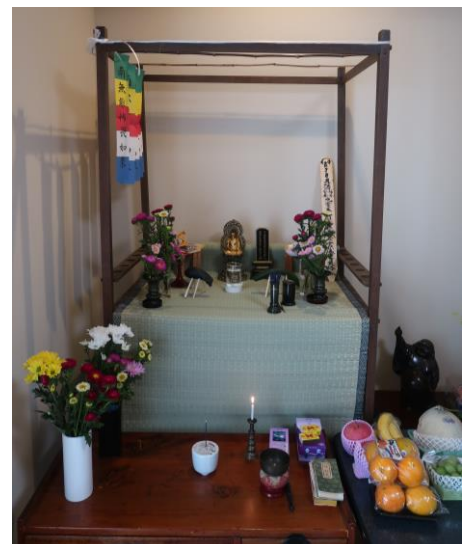
8月	住職の回る範囲	副住職の回る範囲
10日	安曇、明科、麻績など超遠方	安曇、明科、麻績など超遠方
11日	並柳、寿、塩尻、村井、平田、など市外南部	笹部、征矢野、南原、石芝、二子、神林、笹賀、など市外南部
12日	筑摩、神田、惣社、山辺、清水、横田、など市外北部	石芝、高宮、南松本、荒井、新村、波田、岡田、桐、沢村、蟻ヶ崎、城山など
13日	源地、日ノ出町、県、西小松、清水、四谷、女鳥羽、下横田など市内北東部	宮村、埋橋、庄内、東中条、豊田町、南新町、井川城、など市内南部
14日	裏町、片端、下横田、女鳥羽、旭町、元町、横田、美須々、浅間、北深志、沢村、田町、など市内北西部	鎌田、本庄、博労町、天神、宮村、中町、小池町、飯田町、本町、新橋、島内、蛇原、
15日	上土、六九、西堀、城西、宮渕、城山、留守だったお宅、	白板、渚、巾上、伊勢町、国分町、留守だったお宅
16日	留守だったお宅	留守だったお宅

盆棚の飾り方

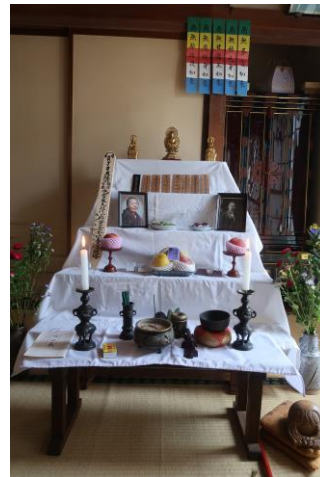
右の写真は松本地方の伝統的な盆棚の飾り方です。酒場で最後まで飲む人を「ボンゴザ」と言いますが、右の飾りのように、棚にゴザを敷き、お盆が終わると最後にお供え物をこのゴザで包み、川に流したのに因んで用いた言葉です。このように日常の言葉となるほどに馴染んだ伝統ですので、それぞれの家によって代々伝えてきた飾り方を大切に、お盆をお迎えください。また下記に一般的な飾り方を示しますので、飾り方の不明な部分はどうぞ参考にしてください。

1、棚を作る場合（右の写真参照）

上の段に本尊様、（本尊様は仏壇の中に入れ、盆中は扉



を閉じておくというお宅もあります。その家のやり方を尊重してください。) お位牌、塔婆を奉る。お位牌は古い順に、向かって右へ、新しいものは左へお祀りします。2段目には供物をお供えします。お供物には二種類あります。水(お茶)、食(お膳、果物、菓子、嗜好品)などです。3段目に過去帳、花、燭台、線香立て、鐘、マッチや火消しや線香入れなどの道具をおきます。



2、仏壇を使う場合

仏壇は常のとおり祀る。手前に経机や机を出すお宅は机の上に、経机を出さず引き棚を使うお宅はその上に、棚の3段目に飾る過去帳や花や鐘などを飾る。その他灯籠や飾り花、いただいた供物などは写真のとおり適所に飾る。

3、玄関先に飾る場合(前頁に写真を掲載してあります)

玄関先に手ごろな机を出し、お位牌・燭台・線香立て・鐘・供物をお飾りする。ワクチン接種などが進みここまでしなくても感染することはないかと思いますが、念には念を入れとお考えの方はこんな方法も良いかと思えます。

4、またお寺が配る五色の盆旗は、写真のように広げて糸などを通して吊るか、棚に広げておいてください。



初めにも書きましたが、お飾りの方法はこうでなくてはいけない、ということはありません。ご先祖様をお迎えするという気持ちをこめて、その家に伝わった仕方で飾っていただくのが大切なことと思えます。

コロナ後、葬儀や法事が変化しました

前号にも書きましたとおり、感染症の影響を受けて、葬儀や法事の在り様が激変しました。

中南信のご寺院がどのように対応しているか、皆様に関係すると思われる部分をお知らせします。どのお寺様もまずは檀信徒の要望をよく聞いて、対応されています。皆様も要望や意見をお寺様にお伝えください。ご意向に沿えるよう対応させていただきます。

お盆などの法要

お寺様や参列者の人数を減らし、三密にならないよう工夫しています。説教や食事は中止し、衛生管理を徹底しています。手洗い・アルコール消毒・マスクの着用・飛沫の拡散を考え、読経の音量を下げ、講演も中止したり、参詣の皆様の間隔を空ける、などの工夫をしています。

葬儀

お寺様や参列者の人数を減らしていますが、国は飲食の規制をある程度緩め始めていますので、少しずつ飲食される方が増えています。が、弁当を配るなどの配慮も続いています。県外の方も参列されるようになりました。

法事

感染症に対して、葬儀と同様に厳しく規制することはなく、法事を延期していた方も通常通り法事をするようになりました。読経は寺の広間を使い三密にならないよう工夫しています。飲食は以前より自由になりました。弁当のお持ち帰りなどの対応も続いています。

お寺を会場にすることが増えています

葬儀や法事の参列者が少なく、大きな会館やホールが必要なくなり、お寺を会場にすることが増えています。車の台数が少ないので寺の駐車場で十分。食事をせず弁当を持ち帰るので寺で十分な対応ができるなど、経済的にも節約でき寺を会場にするケースが増えています。

コロナ感染症に対応する情報を、寺からさらに多く発信します。今までの伝統を大切にしながら、新しい方法を取り入れていきたいと思えます。

情報発信にはウェブを使ったオンラインを利用することが一つの方法として考えられます。皆様の周りも、社会生活がこの感染症で一変している事と思えます。この変化に対応できるような寺も挑戦を続けて行きたいと思えます。

全久院の集い

コロナ感染症のため、座禅会、観音講、御詠歌、歌の会、茶道教室など中止が続き上半期の活動はほとんどできませんでした。6月中旬からは感染症が下火になるに従い、できる範囲で活動を始めています。盆明けには以前のような活動ができるように祈っています。

大黒コーナー … オペラ 愛の妙薬…

来年4月23日(日)14時より、まつもと市民芸術館主ホールにて、ドニゼッティ作曲オペラ「愛の妙薬」を開催します。今回で11回目の公演になります。

アウトラインは、若くて村一番の美人のアディーナは、お金持ちの農園管理人であり教養もある。これまでも多くの男性に言い寄られてきたが軽くあしらって相手にしてこなかった。ところが、同じ村の若者で教養がなく貧しくいつもダラシノない格好をしているネモリーノが、よりによってこのアディーナに恋をしてしまったから大変。人の良いことだけが取り柄のネモリーノは何とか彼女の愛を得たいと思うのだが、いつも馬鹿にされるばかりである。さらに村に駐屯する軍の小隊のキザな軍曹の求愛、とドタバタ劇が進行。そこで登場するのが〈愛の妙薬〉！実はインチキ薬売りのドゥルカマーラが口八丁で売りまくる単なる安ワインなのだが、それを〈惚れ薬〉と信じ込んで飲んだ若者ネモリーノが、やっとのことで大好きなアディーナの愛を得る。さらにはおじの遺産が転がり込み、村の娘たちはネモリーノにアタック開始！結果的には〈妙薬〉の力で、アディーナと結ばれる。メデタシ、メデタシ！

ドニゼッティのオペラ・ブッフアの代表作。随所に有名なアリアが流れ、牧歌的な純朴さと底抜けの明るさをもつ喜劇だが、ちょっぴりセンチメンタルでホロリとさせるような面も持つ逸品。ぜひご期待ください。

掲示板 (皆様のご参加お待ちしております)

(コロナ感染症に対応して予定変更がります。寺に連絡して確認しながらご参加ください)

～施食会～

8月5日(金) 12時 受付、バザー開始。13時護持会総会。14時 法要。15時 お塔婆を配ります。今年も、コロナ感染症対策として、食事、お説教、余興はありません。バザーは例年通り行います。ふとん・タオル・食品・食器・石鹼などたくさんの品があります。持ち帰るのに便

利な風呂敷や紙袋など持ち寄ってお越しく下さい。かなり良い品があります。ウクライナ支援のため是非ご協力ください。なお7月に前もってお配りする施食旗の封筒の説明書きは例年のものです。今年のお盆のものではありませんので、「全久院報」の記事の説明に従ってください。

．．． 座禅会 ．．．

8月はあります・9月17日(土)・10月8日(土)・11月19日(土)・12月17日(土)
お粥と精進料理。以上が下半期の日程です。毎回夕方4時集合、4時40分まで青山俊董師の市民タイムスのコラム「従容録」を住職が解説し、5時45分頃まで座禅、6時まで茶話会という予定で行います。12月17日はお粥と精進料理を経験していただきます。座禅を経験していただくだけでなく、ものの見方や生き方を豊かにすることができますと思います。ぜひご参加ください。

．．． ご詠歌会 ．．．

8月はあります・9月14日(木)・10月12日(水)・11月9日(水)・12月14日(水)
午前10時30分より12時まで、白板 東昌寺住職 飯島恵道師にご指導いただきます。一緒にいかがですか。また、ご詠歌を始めたいという方に大黒が初心者コースを担当します。ご希望の方はぜひご連絡ください。

．．． 観音講 ．．．

毎月17日10時から12時半まで行います。ただし、9月は15日、10月17日(月)は奈川の「仙洛」への小旅行の予定、12月19日(月)です。恒例の観音講の内容は10時から観音様にお勤めと住職の話し、10時40分からご詠歌、11時20分から大黒の指導で唱歌の合唱12時より食事という日程です。現在15人ほどの参加者があります。気よりも良く60代から90代の方が元気に集まってきます。気楽な会ですのでぜひご参加ください。17日が土・日曜日に当たる場合は日をずらしますので、寺に確認ください。

．．． 歌の会 ．．．

8月17日(水)・8月31日(水)・9月7日(水)・9月21日(水)・10月5日(水)・
10月19日(水)・11月2日(水)・11月16日(水)・12月7日(水)・12月21日(水)
午前10時より12時まで、お茶休憩をはさみ大黒が指導します。発声練習をして、唱歌、童謡、懐かしい曲など一緒にいかがですか。また、ハーモニーを付ける曲もあります。他の催しへの参加なども企画しています。音楽を通した楽しい友達もできますよ。お待ちしております。

．．． 全久院ホームページ ．．．

<https://zenkyuin.or.jp/>

全久院ではホームページを開設しています。「全久院報」をネットで見ていただけるようにしています。管理をしてくれている檀家の丸山耕一さんと親しみやすいものにして行きたいと考えています。また、皆様と意見や情報を交換できる場に育てて生きたいと思います。ぜひ一度開いて見てご意見ください。